

New マルゴーッ!!

変化に挑戦

2019年度 環境報告書

2019年に丸五グループは100周年を迎えました

New マルゴッ!!

変化に挑戦



「もっと愛される 100 年へ」

安全・安心・快適を未来につなぐ丸五グループ

⑤丸五ホールディングス

目次 1

New マルジョーッ!!

変化に挑戦

1. 企業理念
2. 丸五ゴム工業株式会社 環境方針
3. 環境への取組みの沿革
4. 環境管理組織
5. 2019年の主な取り組みの実績
6. 廃棄物削減・リサイクル

目次 2

New マルジョーッ!!

変化に挑戦

7. 環境配慮製品の開発

8. CO₂削減活動

9. 環境リスク予防活動

10. 従業員への啓蒙活動

11. 地域貢献活動

1. 企業理念

1. お客様・仕入先様・従業員・地域社会に信頼していただける会社をめざし、仕事を通じて社会に貢献する。
2. 正々堂々と正道を歩むことを行動規範とする。
3. 独自性が高い製品開発とムダのないモノづくりを基盤に、進化・成長を続ける。

2. 丸五ゴム工業株式会社 環境方針

New マルゴッ!!

変化に挑戦

基本理念

当社は自動車用途を主とした工業用ゴム・樹脂製品を開発・製造・販売する企業として社会に貢献し続けたいと願っています。

フレキシブルな思考を通して地球環境に配慮した価値ある製品を提供することにより、資源の有効活用、環境負荷の低減、環境汚染の防止を推進し、省エネルギーを中心とした環境保護に取り組みます。

行動指針

1. 環境目的・目標を定め、環境マネジメントシステムの監査を定期的 to 実施し、システムの継続的改善を推進します。
2. 環境法規制、条例、協定等を順守し、地域社会を大切にします。
3. 次の項目に主体的に取り組めます。
 - ① 環境配慮製品の開発・販売
 - ② VOC削減
 - ③ 廃棄物削減及びリサイクル
 - ④ 省エネルギー
 - ⑤ 物流の効率化
4. 環境方針は『環境カード』にて全従業員及び敷地内の供給者に配付、周知するとともに、環境教育を進めます。
また、環境方針はホームページ等で社内外にも開示します。

2016年8月1日

代表取締役社長

藤本 達夫

3. 環境への取り組みの沿革2002年～2011年

- 2002年 6月 ISO14001認証取得
- 2006年 9月 岡山県より、「岡山エコドライブ事業所」に認定
- 2008年10月 経済産業省が進める「CO₂試行排出量取引スキーム」に参加
- 2009年 8月 本社工場 重油ボイラーから、CO₂発生量の少ない
都市ガスボイラーに更新
- 8月 本社工場・矢掛工場が岡山県より、
「アースキーパーメンバーシップ会員」に登録
- 2010年10月 本社工場・矢掛工場が、岡山県より、「岡山エコ事業所
ゼロエミッション事業所」に認定
- 2011年 8月 矢掛町と「丸五矢掛の森 森づくり協定」を締結

3. 環境への取組みの沿革 2012年～2016年

New マルゲーッ!!

変化に挑戦

- 2012年 7月 国内クレジット「矢掛町における太陽光発電事業」で
CO₂183t を矢掛町より購入
- 2013年 6月 前年に引き続き、CO₂103t を矢掛町より購入
- 2014年 2月 本社工場 出荷センター屋根に太陽光パネルを設置・稼働
- 4月 矢掛工場 樹脂工場屋根に太陽光パネルを設置・稼働
- 2016年 3月 岡山県より本社工場・矢掛工場が
「**岡山エコ事業所「ゼロエミッション事業所」**」認定更新
- 2016年 5月 **伊勢志摩サミットカーボン・オフセット**に参加 CO₂286t 償却
- 11月 経済産業省・環境省・農林水産省より、
伊勢志摩サミット カーボン・オフセット感謝状を受領

3. 環境への取り組みの沿革 2017年～2019年

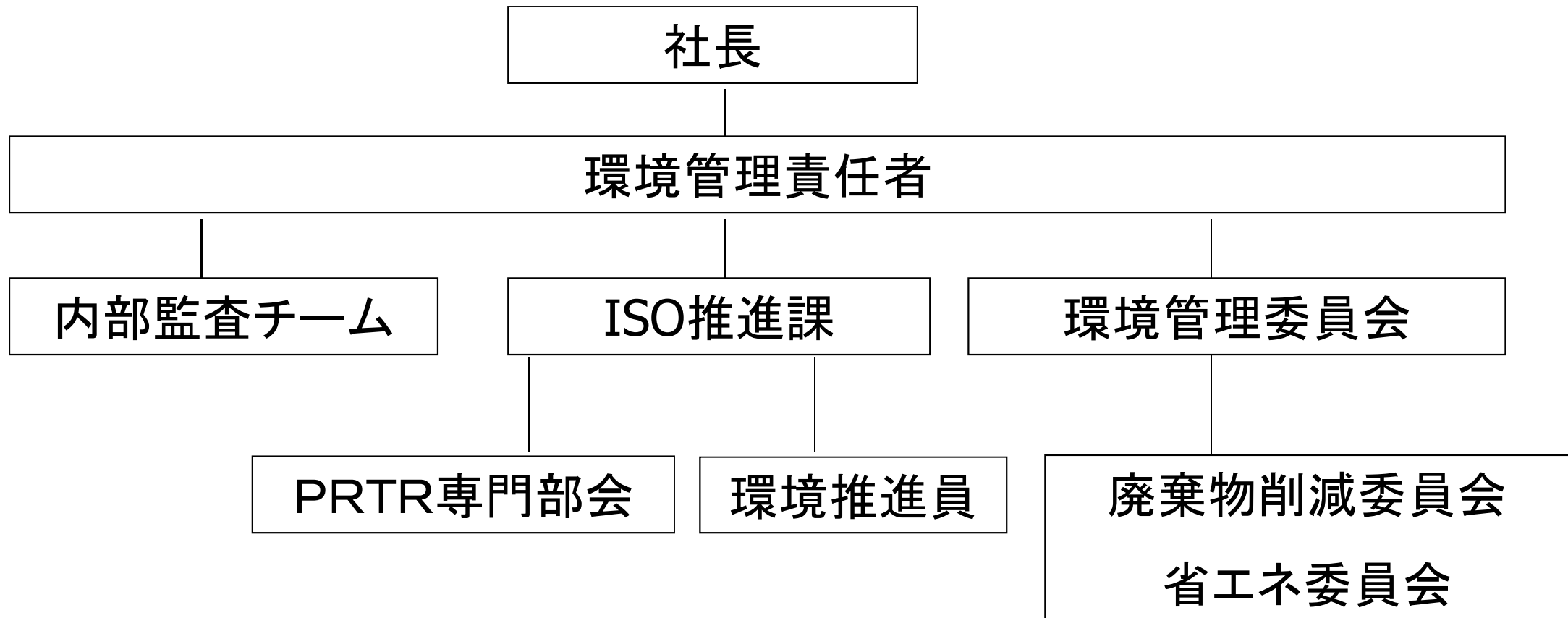
New マルゲーッ!!

変化に挑戦

2017年 6月 環境省より「COOL CHOICE賛同証明書」を受領

2018年 3月 「丸五矢掛の森活動」が小学校5年生社会科副読本に掲載

4. 環境管理組織



5. 2019年の主な取組みの実績

(1) 産業廃棄物

項目	部門	目標	実績	達成度	今後の取組み
廃棄物 削減	本社工場	原単位 200.0kg/百万円 以下	204.4kg/百万円	×	廃棄物削減 不良低減
	矢掛工場	原単位 188.0kg/百万円 以下	219.4kg/百万円	×	廃棄物削減 不良低減
廃棄物 リサイクル の 推進	本社工場	埋立廃棄物 2001年度比 90%以上削減	92.0%削減	○	汚泥のリサイクル率UP
	矢掛工場	発生廃棄物 リサイクル率 90%以上	92.9%	○	廃プラスチックのリサイクル率 UP

5. 2019年の主な取組みの実績

(2) 環境配慮製品、省エネ、VOC削減、物流の効率化

項目	部門	取組み内容	達成度	今後の取組み
環境配慮 製品の 開発	防振技術部	リサイクル、軽量化製品の開発	○	
	ホース技術部	リサイクル、軽量化製品の開発	○	
	新規事業開発部	リサイクル製品の開発	○	
省エネ	本社工場	電力・燃料使用量原単位削減	×	省エネ設備への更新
	矢掛工場	電力・燃料使用量原単位削減	×	省エネ設備への更新
VOC削減	本社工場	接着剤使用量原単位削減	○	
	矢掛工場	トルエン使用量原単位削減	×	トルエン適正流量管理 再生トルエン使用の拡大
物流の 効率化	本社工場 矢掛工場	製品輸送の効率化	×	荷姿改善と物流ルートの変更

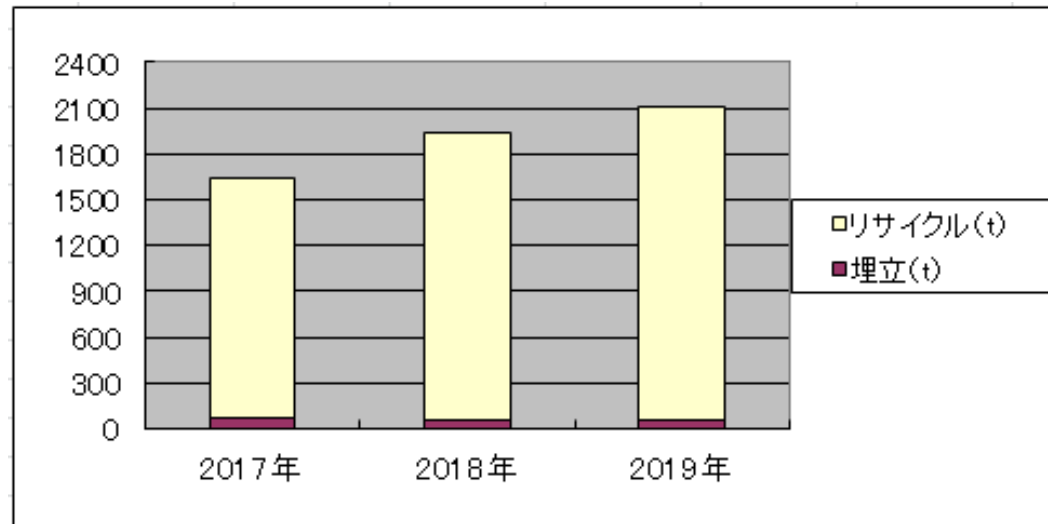
6. 廃棄物削減・リサイクル

New マルゴッ!!

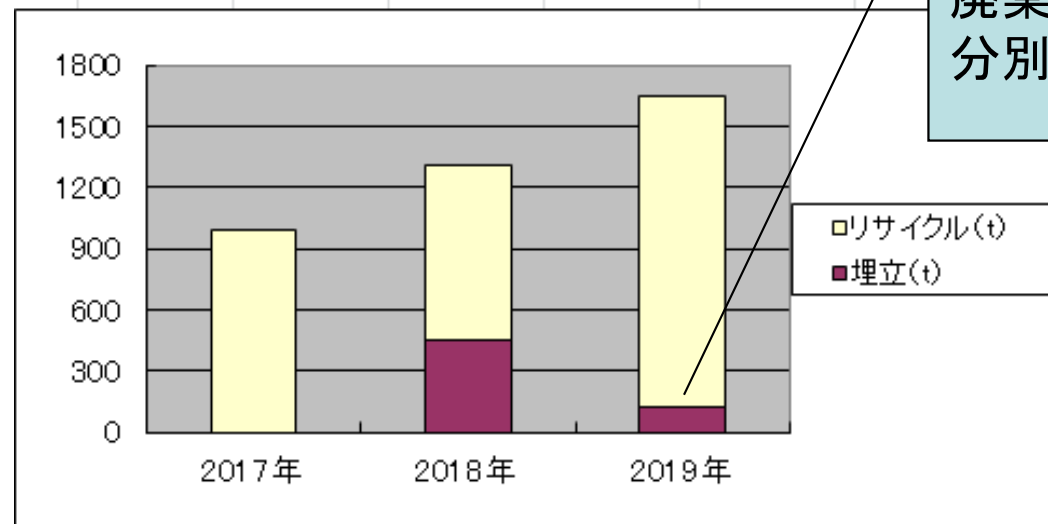
変化に挑戦

(1) 産業廃棄物発生量の推移

本社工場



矢掛工場



廃棄ゴムを袋で色分けし、
分別を徹底した

6. 廃棄物削減・リサイクル

(2) 矢掛工場 廃棄ゴムの分別活動

New マルゴッ!!

変化に挑戦



黄色の袋に入れて分別を徹底し、埋め立て量を削減した。

6. 廃棄物削減・リサイクル

(3) 廃棄物処理場現地確認



廃棄物処理場の現地監査を定期的に行い、適正に処理されていることを確認しています。

7. 環境配慮設計事例1(ホース技術部)

New マルジョーッ!!

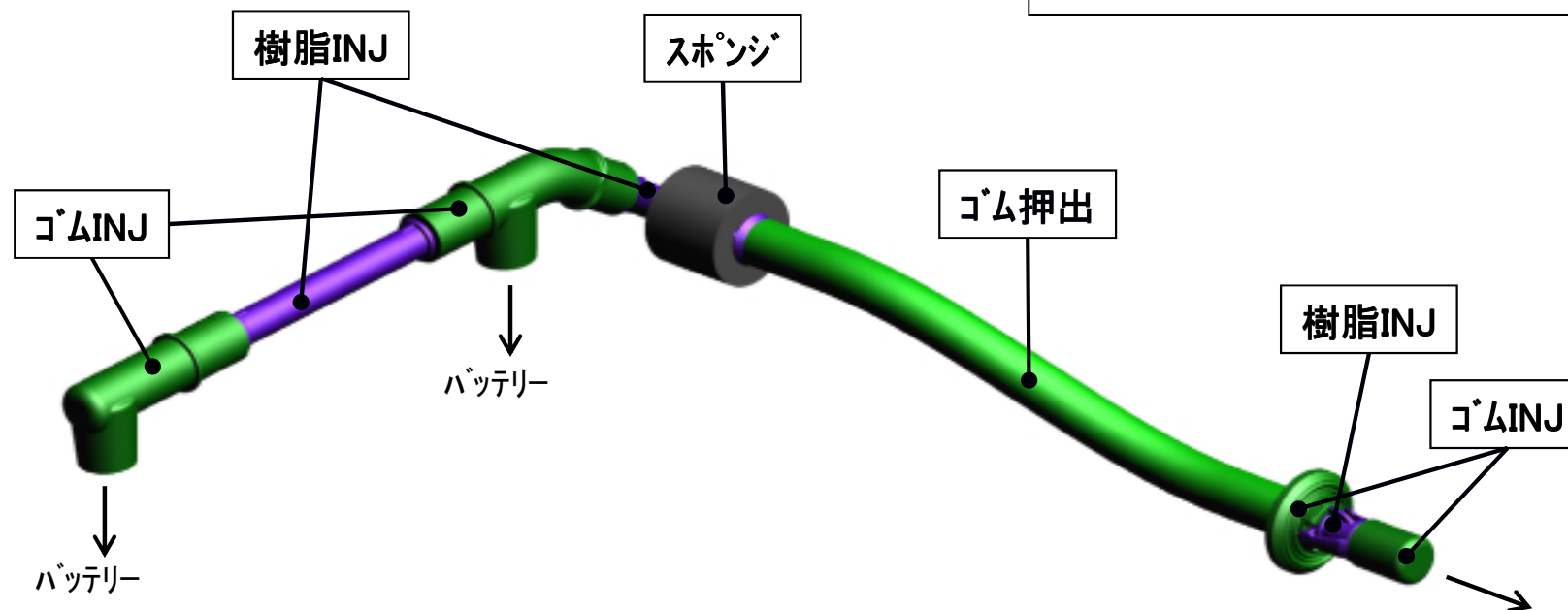
変化に挑戦

環境対応自動車製品を
積極的に開発展開中

HV乗用車向け

① バッテリーチューブ(排煙チューブ)の量産開始

② バッテリーチューブを他の車種にも量産予定
・押出ゴムホース長さ違いで対応
(設計で共用部品として最大利用)



バッテリーチューブは、事故等によりバッテリーが化学反応し発生したガスが車室内へ入らないよう車外に排煙するために使用される。

バッテリー内の圧力上昇でキャップが抜けてガスを車外へ放出する構造

③その他;HV車用インバータラジエーターなど多数試作中。

7. 環境配慮設計事例2(防振技術部)

New マルジョーッ!!

変化に挑戦

防振技術部では鉄からアルミ・樹脂への置換による軽量化製品の開発を積極的に進めています。

アルミや樹脂を積極的に使用した防振ゴム

ユニット側アルミブラケット
(約1,700g)

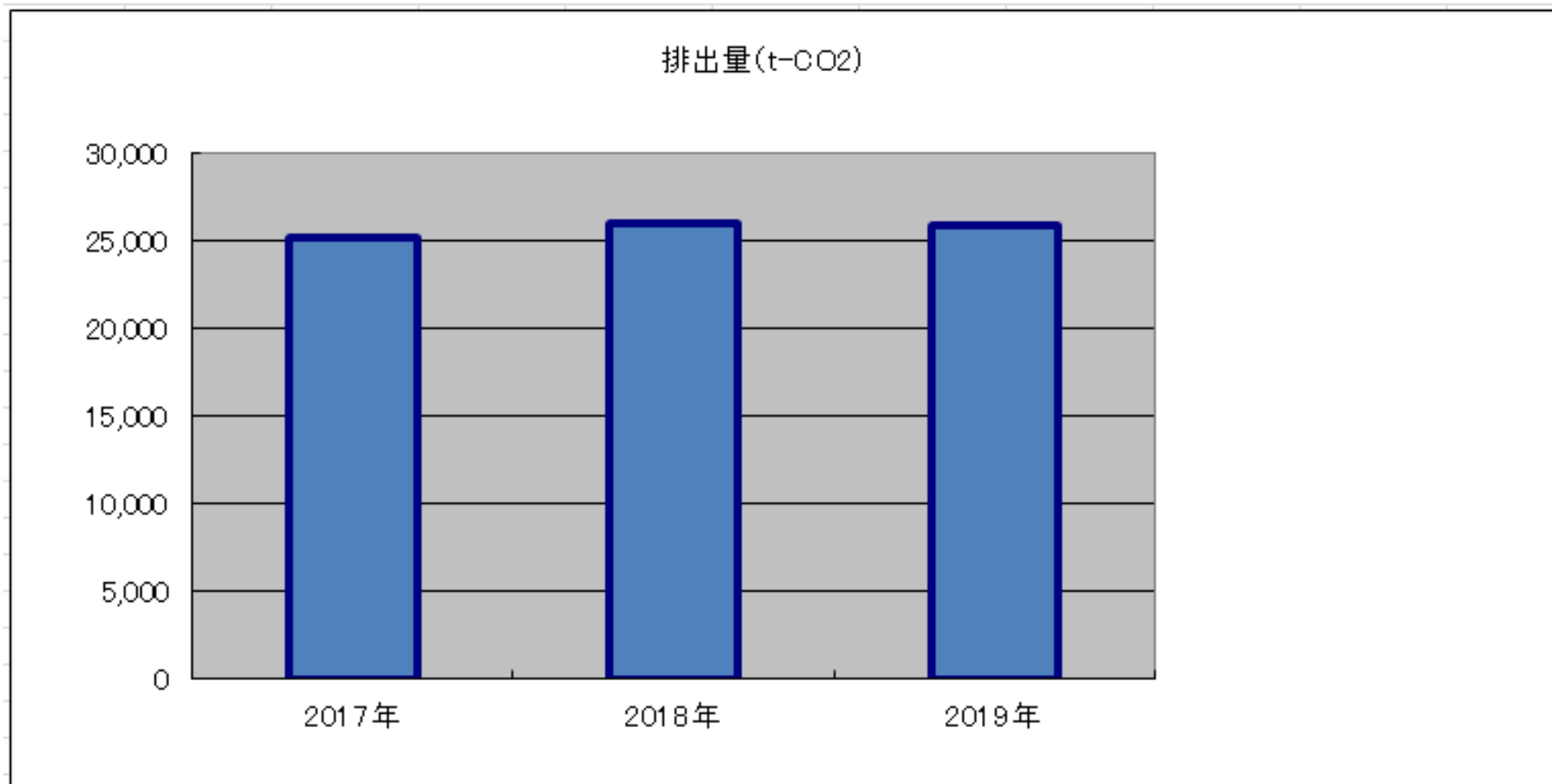
車体側アルミブラケット
(約1,200g)

樹脂プレート(約90g)

鉄(比重7.8)よりも比重が小さいアルミ(比重2.7)や樹脂(比重1.4)を積極的に使用して、軽量化製品の開発に努めています。

8. CO₂削減活動

(1) CO₂排出量の推移



引き続き、省エネ活動でCO₂削減に取り組んでいきます。

9. 環境リスク予防活動

緊急時排水訓練を実施しました



矢掛工場での訓練の様子

一般排水経路に工程排水が流れてしまった場合を想定して、排水処理設備へポンプで送り、外部への流出を防止するための訓練を実施しました。

10. 従業員への啓蒙活動

1. 環境全員集会 毎年4月

環境管理責任者による従業員全員への環境講話

2. 環境推進キャンペーン 毎年5～6月



環境全員集会の様子

11. 地域貢献活動

(1) 住民苦情には真摯に対応します

住民苦情件数の推移

	2017年	2018年	2019年
騒音	0	1	0
排水	0	0	0
臭気	0	0	0
計	0	1	0

11. 騒音測定実施

(1) 住民苦情には真摯に対応します

New マルジョー!!

変化に挑戦



図: 本社工場敷地境界測定結果

2018年の騒音苦情発生を受け、
本社工場の東西南北全地点で年1回
騒音測定を実施中。

2019年11月1日 本社工場敷地境界
で騒音測定実施しました。

昼間: 10:00~11:30 規制値: 65dB

夜間: 22:00~23:30 規制値: 50dB

全ての地点で昼夜共に規制値内であ
ることを確認しました。

今後も年1回 騒音測定を実施して
参ります。

11. 地域貢献活動

(2) 地域清掃に積極的に参加しています

New マルジョーッ!!

変化に挑戦



丸五矢掛の森 植樹・草刈り
(矢掛町茶臼山)
岡山県「企業との協働の森づくり」
矢掛町と協定締結



児島湖流域清掃大作戦
主催：児島湖流域環境保全対策推進協議会